



▲キャラダンスに勢ぞろいした県南地域のご当地キャラたち

**ご当地キャラ子ども夢フェスタ  
多くの来場者でにぎわう**

6月3日・4日の2日間、日本三大ご当地キャライベントの一つである「ご当地キャラ子ども夢フェスタ in しらかわ2017」が、JR白河駅周辺で開かれました。県内外から約13万人が訪れ、全国のご当地キャラ・ヒーロー・萌えキャラなど計178体と触れ合いました。

また、りぶらん駐車場には、福島県食材の安全性やおいしさをPRするステージが設けられたほか、恒例の「全国しゅうまいサミット」をはじめ、県内外の飲食ブースも人気を集めていました。



▲小峰城二の丸特設野外舞台で披露された能「石橋」

**白河スーパー新能  
揺らめく幽玄の世界を堪能**

5月27日、小峰城二の丸特設野外舞台（郭内）で「白河スーパー新能」が行われました。

新能に先立ち、箏と電子音響を融合させた現代音楽のコンサートや、白河提灯まつり行列が催されました。かがり火がともされると、会場は厳かな雰囲気包まれ、ライトアップされた小峰城を背景に、梅若会能楽師観世流の松山隆雄さんが、相生の松を題材にした祝いの仕舞「高砂」を演じ、山中近晶さんが豪華絢爛な獅子の舞が見物の能「石橋」を披露し、来場者を魅了しました。



▲復旧作業が進む本丸北面の石垣

**小峰城跡一般公開  
石垣の修復現場を見学**

6月4日、小峰城跡災害復旧工事の一般公開が行われました。市では、震災で崩落した小峰城跡の石垣が復元されていく様子を、実際に見て確認できるように、平成23年度以降定期的に公開しています。

当日は378人が参加し、市職員による復旧工事の進捗状況などの説明を受けながら、三重櫓側から本丸北面を見学しました。

今後の公開日は、7月30日、9月3日、10月1日、11月5日、12月3日の日曜日（午前10時から午後3時まで）を予定しています。



▲田植え体験を楽しむ参加者たち

**しらかわ農業体験  
田んぼアートでダルライザー描く**

5月28日、南湖公園近くの水田で、「しらかわ応援団」農業体験による田植え体験が行われました。これは、米づくりから酒造りまで全5回の体験を通して、地元や首都圏の住民に、農業の魅力を伝えることを目的に行われています。

当日は田植え体験のほか、県のオリジナル水稲品種「天のつぶ」や鑑賞用の「ゆきあそび」などの苗を使った田んぼアートにも挑戦し、市のご当地ヒーロー「ダルライザー」を描きました。田んぼアートは、7月から8月中旬に見頃を迎えます。



▲慶應義塾大学応援指導部の皆さん（前列右が木島委員長）

**東京六大学応援団 白河六旗  
伝統ある応援団からエールをもらう**

6月9日・10日の2日間、コミネス（会津町）で東京六大学応援団連盟（木島隆博委員長）による「白河六旗」が開催されました。

初日には、本市と西郷村内の全中学校3年生が招待され、伝統ある応援団からエールをもらいました。実演後には交流会が設けられ、各大学の学生が生徒からの質問に答えるなど、交流を楽しみました。

来場した市内の女性は「毎年楽しみにしています。今年も学生から元気をもらえて良かったです」と話してくれました。



▲開会式で交通安全の誓いを述べた釜子小の森詩織さん（右から2番目）

**交通安全鼓笛パレード  
事故防止を呼び掛ける**

5月30日、市内全15小学校が参加し、白三小から中町交差点までの約1.3キロのコースで「交通安全鼓笛パレード」が行われ、「みんながねルール守れば ほら笑顔」をスローガンに事故防止を呼び掛けました。

当日は晴天に恵まれ、初夏を思わせる陽気のもと、児童たちは日ごころの練習の成果を披露し、堂々とパレードしました。

沿道に駆けつけた多くの保護者や市民は、パレードの様子をカメラに収めたり、演奏に拍手を送ったりしていました。